



消防団員インタビュー



第三分団
高橋分団長（18年目）

第三分団の雰囲気や特徴を教えてください。

消防団という組織なので、上下関係は少なからずありますが、基本的には団員同士フレンドリーな感じで接しています。

消防団活動を通して得られることを教えてください。

一番は災害に対する対応力が身に付きます。日々の訓練はもちろんのこと、消火活動や救助活動を通してさまざまな技術や知識を得ることができます。また、消防団に入団すると、東京消防庁の研修や訓練を受ける機会があり、動画学習としてe-ラーニングシステムも充実しています。

入団してから、ご自身に何か成長や変化はありますか。

コミュニケーション力が伸びたと思います。私

自身は30歳の時に入団しましたが、それまでの会社と自宅との往復から一変し、入団してからは町会・自治会、学校や市役所・消防団関係者の方々など幅広い年齢層の人と接してきたことで、自然とコミュニケーション力が身に付きました。

コミュニケーション力はどの職業にも生きることだと思うので、これから社会人になる若い世代の方にとっては勉強になることばかりだと思います。

消防団員に興味のある方にメッセージをお願いします。

一言で言うと「一旦チャレンジしてみよう！」です。それがどんな結果であれ、「ゼロ」だった経験値が「イチ」になることに変わりはないです。少しでも関心があったら、ぜひチャレンジしましょう！

入団したきっかけを教えてください。

18歳になったことをきっかけに市政に興味を持つようになり、自分にはどういった貢献ができるか考えていた中で、第五分団が近所にあり身近な存在だったので、消防団なら地域への貢献ができると思い、入団しました。

消防団活動のやりがい、魅力などを教えてください。

子どもが好きなので、市内の巡行や地域の行事などで子どもたちと触れ合うときにやりがいを感じます。子どもたちには消防団員との触れ合いを通して、とにかく良い思い出を作ってほしいので、防災イベントなど機会があれば消防ポンプ車に乗せたりしています。

入団してよかったことはなんですか。

団員皆さんが年上なので、人生勉強になることばかりです。普通の大学生活では味わえない貴重な経験だと思っています。また、訓練を通して可搬ポンプや消火ホースの使い方を覚えたことで、火災に対する心構えができました。

学生と消防団活動の両立はできていますか。

毎日夜遅くまで授業をしているので限られた日しか活動できませんが、やりがいを感じるからこそ続けています。また、「学生消防団活動認証制度」も整備されていますので、就職などの際には学生として消防団活動をしていたことを積極的にアピールできます。

仕事・家庭と消防団活動の両立はできていますか。

妻と子ども3人の5人家族ですが、家族の協力もあって続けることができています。子どもが消防ポンプ車を見ると喜び、喜んでる顔を見るのもやりがいの一つです。

小金井市消防団は団員を募集中です。消防団アピールをお願いします！

消防団はそれぞれが本業の傍ら活動している組織なので、異業種の人との出会いがあるのも魅力の一つです。大変なこともあります、その分達成感も味わえます！一緒に地域を守りましょう！



第五分団
彌榮団員（2年目）



第四分団
大久保班長（6年目）

第四分団の雰囲気や特徴を教えてください。

和気あいあいとする時もあるけれど、訓練にビシッと集中するときもあり、メリハリの利いたグループです。下が27歳、上が55歳と幅広い年齢層の人たちが集まっていますが、普段からフランクな感じで接しています。

入団してから、ご自身に何か成長や変化はありますか。

自分の地域は自分で守るという意識が芽生えました。また、いつ何時火事起きるかわからない中で生活してきたので、サイレンの音や臭いに対して身体が勝手に反応するようになりました。

消防団の活動

火災に備えた訓練

基本動作を習得するための規律訓練や消火のための放水訓練など、災害活動力を高める訓練を行っています。



警戒活動

夜間や火災予防週間中、消防ポンプ車に乗って市内巡回をするほか、祭りの警備など、地域の安全安心を守る活動を行っています。



地域と連携した活動

防災訓練や地域の催し物が行われる際に、火災予防の呼びかけや初期消火などの指導を行っています。



平常時の活動

消火活動

火災が起きた際は、自宅や職場から現場に駆けつけて消火活動を行います。



救助活動

火災や地震、台風などの災害発生時には、消防署と連携して、迅速な消火・救助活動を行います。



水防活動

大雨などにより増水した河川の警戒、機材等を活用した水防工法、住民の避難誘導等の活動を行います。



災害時の活動

受け持ち区域

火災などの災害が発生すると、団員はそれぞれの消防団詰所から消防ポンプ車で災害現場に出動し、小金井消防署と連携して活動します。

また、応援協定を締結している武蔵野市、三鷹市、府中市、小平市、国分寺市の建物火災の際にも出動する場合があります。

分団	受け持ち地区
第一分団（本町5-2-28）	本町1丁目8～10番・15～20番、本町2～6丁目
第二分団（梶野町5-7-20）	関野町、梶野町、緑町
第三分団（中町2-19-25）	東町、中町、本町1丁目1～7番・11～14番
第四分団（前原町5-9-18）	前原町、貫井南町1～2丁目、3丁目1～2番、貫井南町4～5丁目
第五分団（貫井北町3-1-2）	桜町、貫井北町、貫井南町3丁目（1～2番を除く）

